

I 報告内容

I-1 現地調査

I-1-1 「現地訪問」

平成 28 年 8 月 29 日 荒木 裕子
参加者 16 名

同行者

荒木裕子
丸井正樹
吉田光一
海老澤隆史

埴町の参加者

藤田理事長
鈴木公雄駅長
埴町役場の方 2 名
農家の方 3 名
女性部 5 名

訪問内容

1) 竹パウダーについて

①栽培状況の確認

ビニールハウスでの栽培状況を見せていただいた。(トマト、きゅうり、なす)

②試料のサンプリング

竹パウダーを撒いて栽培し収穫している所の土などいくつかの条件で採取した。

藤田理事長の畑でもサンプリング。ここでは竹パウダーを撒いていない土もサンプリングした。

③収穫物の試食

なす、きゅうり、トマトなどの収穫物を試食した。

2) ハーブについて

①河川敷のハーブのカーペットの生育状態を視察

カモミール、タイムなどは短く刈られており雑草が生えていた。雑草と混ざってしまう可能性あり。

動物の侵入もあり、そこでの採取は衛生面で問題である。あくまでも観賞用とする。

②女性部の方々からの質問等を聞く

＊ハーブの利用法

＊これから栽培予定のハーブ（ルバーブ、チコリ、チャイブ）はどのような目的で植えるのか聞いた所、明確な答えが返ってこなかった。

＊こちらから栽培に適したハーブを提案した。

③これから植えるハーブの利用法として食用にする場合は、あくまでも畑として柵等設け安全面の配慮が必要であると提案した。

河川敷の一面に畑があるが、雨ですぐ埋まるとのことで利用にはむかない。

3) その他

今年度の講習会等の要望は、荒木教授の衛生検査の実習を再度受けたいとのことであった。また、吉田講師の料理講習の希望もあった。



